

第九たいむず

No.16 2007. 9. 20

通刊759担当 於々太



ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052(事務局長小野里)

♪団員の皆様へ

【団長 渡辺義之】

NPO法人高崎第九合唱団の活動について、新年度から運営委員会において検討を進めてまいりました。その結論について申し上げて団員の皆様にご協力をお願いしたいと思います。

まず現在の、練習を中心とした活動を減らすことなく、内容の充実をはかることが確認されました。NPO法人の趣旨をふまえて、持続的な社会芸術活動を続けることです。このために団員皆様の一層のご協力をお願いします。

次に財務基盤の問題です。当団は団費収入で運営されています。現在の団費年14000円は10年前に決められたもので、当時は冬季の練習も少なく、12月の演奏会中心の活動でした。その後年間を通して練習・発表の機会が増え現在に至っています。

練習量が増え、指導者の充実も図られた今、10年前に設定された団費では、当然財政も困難になっております。今までさまざまな努力により、足りない部分をカバーしてまいりましたが、それにも限界がございます。

これからもより充実した活動を行うために一般・学生とも年会費3000円の増額をお願いいたします。したがって、2008年度より一般17000円・学生12000円の年会費になります。入団金は2000円を据え置きます。

私たちの第九合唱団の活動が、ますます盛んになるようにご協力をお願い申し上げます。

♪9/13の練習にて(先週の練習参加者 計85名 S34+A21+T14+B16)

<指導者からの言葉>

●クリスマスメドレー 6曲目ジングルベル～7曲目きよしこの夜

・「ジングルベル」の言葉 「ベル」は強く押さないで抜きましょう。

→○:ジン グル ベル ×:ジン グル ベル

・P. 27 BB テノールの下パート(セカンドパート)はバスと一緒に主旋律を歌ってください。

同じ部分で、テノール上パートは強く歌わない。主旋律はバスです。

・P. 28 2段目2小節目「ひかり」の「ひ」にアクセントを付けて、しっかり「H」を言いましょ。

・P. 30 1小節目 テノールの音程で、ファにナチュラル(♮)が付いています。ご注意あれ！

・P. 31 1段目～2段目 強弱記号に注意。GGの出だしはフォルテ(*f*)です！

・P. 33 最終小節 伴奏が先に終わり、歌は最後まで残っています。伴奏と一緒に消えないように。歌い収めは自然と消えていくように。

●第九 795小節～最後(※第九の方は復習に入っています。今のうちに疑問点の解消を。)

・795～800小節 初めは弱く(*p*)、隣人にささやくように→徐々に強く、最後はフォルテ(*f*)！

⇒80人分の声量の変化を大きく表現したい！

・810小節 強弱変化をしっかりと。この1小節だけで *ff*→*p*→*mf* と激しく変化します。

・818小節 ソプラノとテノール リズムに遅れないように注意を。

・821小節 テノール音程 1拍目のファを高く意識して取りましょ。

・830小節 3拍目に飛び出さないように！ソリストしか歌いません！！

・857小節 テノール音程 4拍目のソ#をしっかりと取りましょ。

・877、879小節 男声音程注意。879小節目の最後の音はユニゾンで重なります。

♪中国公演 帰国記念パーティ開催予定(兼 写真交換)

9月30日(日)12:00～14:00 メトロポリタンホテル(しらさぎの間) 会費2000円(←決定！)

♪軽井沢合宿について(申し込み受付中、武蔵野音大軽井沢研修センター)

11月10日(土)13:30集合～11日(日)16:00解散(予定) 参加費用:10000円

本番一ヶ月前の最後の集中練習です。**合宿での目標は全曲暗譜！**頑張りましょう！！

暖房は完備されていますが、防寒対策は各自でしっかりとお願いします。夜も帰る心配もないこととすし、時間はたくさんありますので皆さんとの交流も楽しめます。また、飲まない人も練習室に集まって、座談会が開かれたり、ミニ音楽会が開かれたりと楽しみは様々です。

- * 最後のパート練習の機会です。合宿後は全て合わせの練習になります。
- * 先生方が揃えば、合宿の最後に団内第九(第4楽章)フル演奏があります！
- * 宿泊部屋は空調完備の和室で、1部屋3～5名くらいの割り当て。
- * マイカップ、マイスリッパを持参してください！
- * 「相乗り」される方は、運転手さんに片道500円。相乗り(送迎)希望も受け付けます。
- * JR 高崎駅、軽井沢駅は「相乗り」対象駅です。ご希望を受付まで申し出てください。

♪中国公演を終えて

【テノール 渡辺義之】

本年3月下旬に JTB 高崎支店を通じて、承德市における日中文化交流事業参加の打診があった。高崎市・承德市友好都市20周年記念事業とのことである。4月13日の運営委員会で正式に参加を決定し、5月19日に発声式の運びとなった。8月19日の最終練習まで猛練習を重ね、いよいよ8月24日中国に向けて出発。総員77名である。

成田空港16時発・北京空港18時30分着(現地時間)バスで承德市に向かうが途中で道路閉鎖に遭遇してホテル着は深夜12時過ぎになった。

8月25日、承德市の朝は晴天。会場の承德第一中学(日本の高等学校に該当する)文体館でリハーサル。地元の学生や音楽家の出迎えを受ける。午後本番。女性は浴衣姿、男性はそろいのTシャツで日本の歌を歌う。中国の歌“草原情歌”を、中国の学生と合奏団と共演する。夜は歓迎パーティ。承德市長よりお土産を戴く。

8月26日承德市の世界遺産「避暑山荘」「普寧寺」「普陀宗乘之廟」を見学する。雨の中さすが歴史を感じる壮大な寺院である。夜は四海普寧ショウを見学。ラマ教の音楽であろう。

8月27日。万里の頂上を見学。金山嶺より上り、頂上近くで「赤とんぼ」「草原情歌」等歌う。中国トイレ事情を体験。お土産屋さんの歓迎を受ける。北京に移動、天安門、故宮を見学。北京飯店泊。夜は京劇を鑑賞する。

8月28日 天壇公園で「夏の思い出」「ふるさと」を歌う。北京空港13時30分発・17時50分成田空港着。

5日間の中国公演旅行であったが、全団員の協力が無事終了した。多謝。感想は中国の経済発展の激しさとそれに伴う格差の拡大を目の辺りにして驚いた。オリンピック後の中国の変動も目にしてみたい。

♪コンサート情報

9月27日(木) でかんしょ合唱団らんちたいむコンサート 高崎市役所中二階ロビー 12:15～12:45

源田俊一郎編曲童謡メドレー(しゃぼん玉、叱られて、月の砂漠など)、デカンショ節、荒城の月、千の風になって 詳細は、(T)渡辺義之さん、(A)長島好江さん 無料

田村先生・住谷先生ステージ:岩宿博物館サロンコンサート<歌と写真でよみがえる昭和の浪漫>

10月13日(土) 開演19:00 出演:田村稔、田村聡子、石原理恵他

入場料:各¥2000(入館料、飲み物含む)チケットは:田村先生、住谷先生へ

♪先週の忘れ物(右の暗赤紫色のペン)

先週の練習での忘れ物。受付で預かっています。



文庫本「平和の喜びと祈り」を ～高崎にあった「二十四の瞳」～

新風舎文庫 平成 19 年 8 月 15 日発行 700 円 テノール林 英敏

この本のテーマは「戦争と平和」です。というと、なにか重そうなテーマですが、リキミがないためか、自然と興味深く読みすすめることができる本です。著者はバスの長谷川忠(はせがわただし)さん。大正ロマン最盛期の 1925 年、高崎の柳川町に生まれました。日本が中国での権益を急速に拡大していた頃です。

書き出しは、著者のまばゆい 18 歳。空襲が始まる頃でした。本人も召集を受けましたが、終戦のため入隊を経験しませんでした。当時著者は、国民学校の若い教員として職に就いていました。低学年や高学年の生徒との授業や遊びを通じての心の交流。著者にとっては得がたい宝もののような経験でした。生徒の貧しさに心を痛めたり、学校までの通学距離を知らずに、忘れ物ととりに行かせたら 3 時間もかかった道のりを黙って歩いて学校に戻った女の子。著者は今も忘れず、その女の子に、心の中で「あやまっています」。郷土の民話を紙芝居にして子どもたちに大変受けたこと。「片岡のお駒がえる」の話に私は喉が熱くなりました。残り勉強の子どもたちにそっとあげた一つの梨。高崎に「二十四の瞳」がありました。そこには、食べ物がなく、平和もなかった 65 年前の高崎がありました。

戦争を知らないことはいいことだと思います。しかし、自分の想像力を働かせないと「平和」という言葉は実感のない薄っぺらの言葉になってしまうのでしょうか？高崎第九はアウシュビッツ「死の壁」の前で慰霊の歌を歌いました。リトアニアの十字架の丘で野外ミサもしました。風化する歴史の中に消えていった多くの人々の熱い気持ちに心を馳せれば、私たちの歌は第九へと導かれていきます。長谷川さんのポケットに入る文庫本が「戦争と平和」をそっと教えてくれます。<高崎第九もしっかり特集されていますので、特別に団で代行販売します。担当:林